

富津市図書館協議会 会議録

1 会議の名称	令和5年度第4回図書館協議会
2 開催日時	令和6年3月8日(金) 午後2時 ～ 3時
3 開催場所	富津市役所4階 401 会議室
4 審議等事項	(1)令和5年度事業の進捗について (2)令和6年度事業計画(案)について
5 出席者名	○出席委員 川口泰明、杉田玲子、保坂典江、平 順子、 永野弘子、米村志朗、吉田侑季、伊藤隆男、 富井 碧 ○事務局 平野教育部長、樋口生涯学習課長、 吉村社会教育係長、網代主査 ○(株)図書館流通センター(指定管理者) 清水エリアマネージャー、須藤図書館長、大河原
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	3人(定員 10 人)
9 所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話 0439-80-1345
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

令和5年度第4回富津市図書館協議会会議録

発言者	発言内容
樋口課長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>委員の皆さま方におかれましては、本日はご多用の中ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日、会議の進行を務めさせていただきます生涯学習課長の樋口でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>会議前に担当より配付資料の確認をさせていただきます。</p>
吉村係長	<p>それでは本日の会議資料の確認をお願いいたします。</p> <p>机上に配布させていただきました、本日の会議次第、協議会委員名簿、協議会席次表、資料1、令和5年度自主事業、資料2、令和6年度事業計画(案)、以上が本日の会議資料でございます。不足等はございませんでしょうか。</p>
樋口課長	<p>それでは、ただ今から第4回富津市図書館協議会を開会いたします。</p> <p>始めに本日の委員の出席状況を報告させていただきます。</p> <p>10名の委員のうち、出席委員は9名でございます。従いまして、図書館条例施行規則第20条第5項の規定により、半数以上の出席をいただいておりますので、会議が成立することをご報告いたします。</p> <p>続きまして会議の公開についてでございますが、本日3名の傍聴者がおりますことをご報告させていただきます。</p> <p>また会議録作成のため録音させていただくことをご了承願います。</p> <p>それでは始めに川口会長からご挨拶をお願いいたします。</p>
川口会長	<p>あらためまして皆さんこんにちは。本日、4回目の図書館協議会ですけれども、今年度、最後の協議会です。先ほど事務局に確認したところ、図書館が4月にオープンして以来、2月末現在で17万5,675人という来館者数があったということだそうです。やはりこれは、多くの市民の方が図書館設置を熱望していたと</p>

いう証かなと、思ったところです。また図書館で行われている自主事業の参加者も多く、これらについても来館者数を伸ばす効果に繋がってるのではないかと考えたところです。

本日の議題ですが、令和5年度事業の進捗についてと、令和6年度事業計画案についての2件です。皆様のご意見を伺いながら進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上、私の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

樋口課長

会長ありがとうございました。

それではここからは、富津市図書館条例施行規則第 20 条第4項の規定によりまして、会長に議長となつていただき、進行をお願いしたいと存じます

川口会長

それではここから私が議事進行を務めさせていただきます。円滑な議事運営になりますよう、皆様のご協力をお願いしたいと思います。

議題に入る前に、会議録の署名人を指名させていただきます。米村委員と伊藤委員をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは議題に入ります。議題1 令和5年度事業の進捗について事務局より説明を求めます。

須藤館長

皆さんこんにちは。富津市立図書館、館長の須藤でございます。これから令和5年度 12 月以降自主事業につきましてご説明をさせていただきます。

前回からの変更事項のみ説明させていただきます。

まず1番「おはなし会」。12 月1月2月について、人数の記入をしております。2月につきましては蔵書点検もございましたけれども、それなりの人数が定期的に集まっております。

続きまして3番「あかちゃんタイム①はじめてのおはなし会」。12 月1月2月ですが、1月2月につきましては、第1月曜日が1月1日ということでお休みをしております。2月についても、蔵書点検で1回ずつお休みをしておりますので、1回ずつの集計ですが、12 月以降、定期的に来ていただける利用者さんがいて、その

方々が、またお友達を連れてと徐々に増えつつある状況でございます。

4番、「あかちゃんタイム②工作教室」。こちらは第2月曜日に開催をしております。12月はクリスマススペシャルで18名、1月15名、2月12名の参加です。

7番「図書館見学会の受け入れ」ですが、大貫小学校が2月27日火曜日に57名。こちらは、6年生が1年生に本を紹介するという形での見学会を実施しております。図書館のシステムの使い方を図書館のスタッフが6年生に説明し、6年生が選んだ本を、1年生を書架に連れて行って取って、1年生に対して6年生が読んであげるということをしていました。1時間ちょっと館内にいましたが、なかなか盛況な会だったと思います。

11番「図書館だよりの発行」。こちらは1月1日号を1月3日に発行しております。

14番「団体貸出(学級文庫)」。こちらは大貫小学校が1月から毎月40冊と追加になっております。15番の「団体貸出」は12月1日から2月29日まで、佐貫小、天羽小、天羽中、カナリエで団体貸出をしております。

17番「読書活動の推進」。これは館内の展示です。一般向けは、12月「フィナーレ」、1月「カフェ」、2月「北欧」という特別展示をしております。児童向けには12月「クリスマス」、1月「はっぴい」、2月「スイーツ」となっております。ここまでが通年の事業です。

続きまして、期間事業ですが、網掛けした部分については終了している部分ですので、5ページ目からの説明をいたします。

30番「郷土史を学ぶ」。これは野田市と富津市のお互いの郷土かるたを展示し、それぞれの館で同じようなイベントを開催しております。12月10日まで開催をしました。

31番「わくわく工作教室」。こちら毎月第2土曜日開催で12月は10名、1月44名、2月18名の参加でした。

32番「ドキュメンタリーカフェ」。さいたま市立大宮図書館にNHKのプロデューサーをお招きして、NHKの人気番組「100カメ」の裏側をトークしてもらおうというもの、サテライトで結び、図書館で放映しました。こちらは残念ながら1名の参加で、大阪の吹田市、松原市の2館についても、それぞれ1名ずつということで報

告を聞いております。大宮図書館については 60 名ぐらいの人数が集まったということですので、今後こういったサテライト開催というやり方についての検討をしていきたいと考えております。

33 番「あかちゃんタイム①② クリスマススペシャル」は冒頭に説明をさせていただきましたが、18 日、おはなし会と工作教室の合同のクリスマス会という形で 18 名の参加をいただいて、クリスマス・オーナメント作りをしております。

34 番、12 月 14 日から開催をしております「図書館カフェ」。高齢者向けのイベントとして開催をしております。これは富津市の介護福祉課と共催で、イオンモールのパンとか飲み物を提供させていただきながら、介護や認知症の悩みについてみんなで語り合うという会になっております。12 月は 3 名でしたが、1 月が 5 名と徐々に人数も増えてきている状況でございます。2 月は図書館の蔵書点検がございましたので開催しておりません。次回は 3 月となっております。

35 番、「ネットの取説」。ユーチューバーのポケカメンさんをお呼びして、ネットリテラシーの講座を開催しました。参加は、40 名。図書館のカードを持っている方については 16 名ぐらいの参加をいただいています。こちらは YouTube でも公開されておりますが、4 万 4 千回再生という状況でございます。炎上系のユーチューバーということで、内容的にどうなんだろうというところがありましたけれど、実際、来ていただいた子どもたちのアンケートでも、非常にわかりやすい説明だったという声をいただいております。また YouTube の方でもコメントをいただいておりますが、こちらについても、ほとんどの方から好意的な意見をいただいております。中には炎上系ユーチューバーが自分のことを差し置いてそういうことを言うのはいかなものかという意見もありましたけれども、自分が炎上を経験したから言えることもあるというところで、そのところを差し引きましても、好評だったと考えております。

36 番「お話ボランティア養成講座【初級】」。図書館休館日の 2 月 1 日に開催しております。当初、日本図書館協会の認定司書を招聘する予定でしたが、身内にご不幸がありまして、急遽、船橋中央図書館の児童担当者に来ていただいて講師をしていただいたという経緯がございます。こちらについても、市直営の時から船橋図書館の児童担当者でしたので、受講者の皆様には非常にわかりや

すい説明をしていただけたと思っております。

37 番「キミカ文庫」。こちら「キミカ文庫」と書いてありますが「キミカ サイエンス文庫」という名前になっております。こちらは株式会社キミカ様から、今年 100 万円の寄附をいただいております。特設コーナーに「キミカ サイエンス文庫」として、2月 27 日から公開をしております。現時点で 234 冊、今年度末で 258 冊になる予定になっております。すでに児童向けの科学の読み物が非常に貸出されておまして、お子さま方が科学に興味があることがよくわかりました。

38 番「ねこの日の展示」。2月 22 日が猫の日ということで、それに合わせて NPO 法人富津ねこネットさんの協力をいただきまして、フォトコンテストと、ねこに関する展示をしております。

39 番「蔵書点検」。2月 1 日から2月 9 日の9日間で蔵書点検をしております。蔵書点検の結果ですが、総冊数が 81,993 冊、そのうち不明本が4冊でした。そのうち蔵書点検時には無かったのですが、後日発見された本と、バーコードと IC に入ってるデータが違う本が1冊ずつありました。結局、無くなった冊数については、将棋の本と、ヤング向けの本の2冊となっております。来年の蔵書点検のときに帰ってきている可能性もございますが、まずは不明本という形で終了させていただいております。

40 番「図書館視察」。愛知県常滑市の市議会議員団の視察が2月 14 日にありました。こちらは、常滑市でもイオンに図書館を建てるというお話が出ており、富津の状況を見に来たということです。

41 番「図書館流通センター内部監査」。年に1回、必ず本社から図書館の運営についての監査がありまして、今回は2月 15 日に実施されております。監査結果については全 138 項目のうち 31 項目の指摘がございまして、指摘事項 31 項目全てについて、3月末までに対応するという改善計画を本社に提出しており、その承認を受けているという状況です。

続きまして『令和5年度自主事業』の予定。令和5年度の残っている事業ですが、イオンモールと連携して開館1周年記念イベントを3月 22 日から4月 7 日までの2週間、ちょうど春休み期間に開催を予定しております。

図書館内のイベントとしては、「さくらを咲かせよう」、「クイズふつつん」、「1周

年を振り返る展示」をしますが、特に4月6日の土曜日に開催する落語会は、千葉の落語家さんなんですが、真打の月の家小圓鏡師匠をお呼びしまして、その真打の方が1名、それから、色物で独特の字体の寄席文字の書家と、講談師さん、この3名の方に来ていただきまして、図書館とイオンモール3階にできましたコミュニティホールで 80 名ぐらいの落語会を開催させていただきたいと思えます。日本古来の文化の推進となりますので、毎月こういった落語会を富津で開けないかと小圓鏡師匠にお願いしているところでもございます。

それから、イオンモール側としても、この2週間、図書館前でイベントをいろいろ考えているようです。プロのオセロプレイヤーを呼びまして、そこで 20 人ぐらいのお子さんたちとの早指し対決みたいなこととか、4月7日(日)には富津の観光大使であるカジヒデキさんのミニコンサートと1日図書館長。その他、図書館の前のスペースを使いまして、工作関連イベントを全部で4回開催する予定でございます。

この1周年のイベントとあわせまして、利用者アンケートを3月 22 日から4月 21 日の1ヶ月間取らせていただいて、利用者のニーズを取り込んでいきたいと考えております。

自主事業の説明は以上となります。

川口会長

はい、ありがとうございました。

事務局からの説明が終わりました。委員の皆さんからご質問等ございますか。

伊藤委員

今、ご説明がありました、利用者アンケートなんですけども、質問内容はもう既に図書館と事務局の方で話し合って作成済みなのでしょうか。

須藤館長

まず図書館の方で、全国の図書館流通センターで 580 近い図書館で取っているアンケート内容から抽出をしまして、どういうものが良いかという案を出して、事務局の方に承認をいただくという感じで考えております。

伊藤委員

ということはこの協議会では話し合うべき内容ではないということですか

須藤館長	そこまでは間に合わなかったということでご了承ください。
川口会長	他に何かございますか。
富井委員	<p>「わくわく工作教室」ですが、これに参加された方から、先着なのか予約制だったのかで、図書館に来たけれど断られて寂しそうに帰る姿があったと。定員があるのも分かるんですが、図書館に親しんでもらう方に重きを置いて、工作メインじゃなくて、時間内に誰でも参加できるようなものを望みます、という意見をもらいました。</p> <p>あと「おはなしボランティアの養成講座」については、富津市の広報や回覧で早くからお知らせしてもらえたら参加したかった、ということと、参加した人からは「とってもよかった」という感想をいただきました。</p> <p>学校の学級文庫や団体貸出については、大貫小学校でも始めたということでよかったと思うのですが、まだまだ定着するまで長くかかると思いますので、図書館側からのPRを引き続きお願いしたいと思います。</p>
須藤館長	<p>「わくわく工作教室」については、12月からスタートして、12月が10名だったこともあり、実際どのぐらいの方が集まるかわからない状況で、20名ぐらいしか想定してなかったものですから、1月に出来ない方がいたということは把握しております。なるべく多くご用意して、皆さんに楽しんでもらえるように次のやり方を検討しているところでございます。</p> <p>それから「おはなしボランティア養成講座」につきましては、本当に申し訳ございません。本来であれば3月末ぐらいの開催で1ヶ月以上かけて広報させていただければよかったのですが、講師の都合で急きょ2月1日ということになりましたが、その講師も身内にご不幸があり来ることが出来ませんでした。来年度は前もって皆さん方に広報させていただきますので、その際はよろしく願いいたします。</p> <p>それから「学級文庫」につきましては、今、LiBOON(図書館の車)によりまし</p>

	<p>て、学校を回らせていただいております、その都度、校長先生、教頭先生にご挨拶させていただいて、学級文庫の普及をすすめております。徐々にとまりますけれども、学校の数を増やすとともに、よりよい本を学校にお届けできるように、図書館も努力して参りますのでよろしくお願いたします。</p>
川口会長	他に何かございますか。
米村委員	二つあります。一つは今、富井委員が言われた「おはなしボランティア講座」についてです。これは 10 名の定員に対して 26 名参加されてますが、初級が終わると初級の認定があるのですか。
須藤館長	そういうものはございません。初級は「おはなし会」、「おはなし」、「絵本の読み聞かせ」というのはこうやるんですよ、という内容です
米村委員	実際に「おはなし」をすることが可能になるのは、この後どういうステップを踏んでいくんですか。
須藤館長	初級講座の後に行なう中級講座についてはかなりレベルが高くなります。初級は、おはなしをするきっかけ作りで、ターゲットとしましては、これから自分のお子さんに本を読もうとしているときにこうやって読んだら良いといったところをターゲットとして、講師をお願いをしています。ですので、これから回数を重ねてレベルを上げるということも考えていきたいと思っております。
米村委員	<p>子どもに大人たちが本を通じて良いガイドができるような、「おはなし」ができる人が増えればいいですね。初級の中の希望者に選択肢がいくつかあって、レベルアップできるような機能も視野に入れていただければ。</p> <p>それから説明を聞くと、子どもに対する事業の比率が多いですね。市ができて 50 年経ち、やっとできた図書館ですが、極端に言えば、50 年間富津でずっと育った人は、もちろん隣の市に行けばありましたが、図書館を全く知らずに 50 歳に</p>

なった人もいます。こういう人たちに、イオンに買い物に行ったら必ず図書館に行くような、自分の生活スタイルの中に図書館が必ず組み込まれるような仕掛けとして、落語会は素晴らしいなと思います。やはり笑う、声を出すっていうのはすごいストレス発散に良いです。この落語会に参加できる方が80名未満というのはちょっと少ないかなと思います。第1回目の成功を期待すると同時に、2回目にはもうちょっと会場の大きいところになるような、そういう結果が出ればいいですね。ぜひ楽しんで頑張ってください。

川口会長

いま米村委員と富井委員から出たお話のボランティアですが、私も非常に良い事業だと思いますが、受講者の年齢層などを概略で良いのですが教えていただけますか。

須藤館長

ほとんどの方が初めてではなく、ある程度経験があつて、初めから学び直す、そういった方が多かったので、ある程度年齢層は高いです。

川口会長

わかりました。米村委員も仰いましたが、今後の繋がりとして中級・上級とあるということ、この初級の方たちに説明をしていただくと非常にありがたいということを行っていると思うんですが、いかがでしょうか

須藤館長

今回は初めての方はほとんどいなくて、大体どこかのおはなしの会とか、ボランティア団体に所属されてて、まるっきり初めてという方は1名と、富津ねこネットさんが NPO 法人でおはなし会をやってみたいという話がありましたので、この方ぐらいだったと思います。ですので、次回以降は初めての方の会にさせていただいて、そこで興味を持ったら、市内におはなしのボランティア団体が非常に多くありますので、そういったところをご紹介させていただいて、団体の中でレベルアップしていただけたらと。逆にボランティア団体でも、参加したいという方にはこの「初級講座」を受けてください、という形になれば、お互い良い関係になるとと思いますので、そういったご相談もしながら進めていきたいと考えております。

川口会長	ありがとうございました。他に何かご意見は。
杉田委員	<p>私も「おはなしボランティア講座」に参加したかったのですが、会の仲間から、「定員があるから、私達が出るから」といわれたため、参加できませんでしたので、参加した方たちに様子を聞きました。行ってよかったと言っていました。館長さんがおっしゃる通り、富津市では、図書館は無かった分、今は統合が進みまして小学校の数ではありませんが、昔は小学校単位でボランティア団体が立ち上がっていますので、13 団体あったと思います。その活動をされていた方たちが勉強している中で、葛藤や悩みを持ちます。参加した人が教えてくださいましたけど、講師の方が、長年やっているとこんなこと皆さんやってませんか、とおっしゃられて、10年、15年以上やってる方たちも気づかされるが多かったようです。とってもいい勉強会だったという感想を聞いてます。初級は出られなかったのですが、レベルが高いかもしれませんが、中級講座をとっても楽しみにしております。</p> <p>それから先ほど米村委員がおっしゃった、50年間、図書館を知らずにきて、その人たちが図書館を利用したらこんなに楽しい時間が過ごせるんだ、という思いを持ちながら生活できたら、というご意見に大賛成です。</p>
川口会長	ありがとうございました。 他に何か。どうぞ。
吉田委員	通年事業の「団体貸出」について、質問です。小中学校には貸出しがされている状態なんですけど、今後、例えば幼稚園や保育園から要請があった場合、貸出しはしていただけますでしょうか。
須藤館長	そちらも、当然貸出しをさせていただこうと思っております。まだ児童書とか絵本の冊数がそんなにないのですが、それでも2万冊ありますので、いろいろ選びながら、要請があればぜひ配本にいきたいと思っております。図書館の車(LiBOON)は子どもたち喜ぶますので。

保坂委員	<p>自主事業の 14 番と 15 番の「団体貸出」ですが、私は天羽小学校に勤務していますが、たとえば国語の授業で、働く自動車という単元をやると、それに関連したものを沢山そろえてくださいますので非常に助かっています。「学級文庫」で、各学年に5冊ずつとあるんですが、本の冊数もあると思いますけど、本が増えたその際には「団体貸出」の冊数も増やすようにお願いします。いつもありがとうございます。</p>
川口会長	<p>どうもありがとうございました。他に質問ございますか。ご質疑等もないようですので、次の議題に移ります。2番、令和6年度事業計画(案)について事務局より説明をもとめます。</p>
須藤館長	<p>続きまして、令和6年度事業計画(案)について報告させていただきます。</p> <p>まず、1ページ目の運営方針、重点目標、運営体制。</p> <p>重点目標までは令和5年度と変更はございません。運営体制につきましては、館長は小川から須藤に変わっております。人員計画についても特に変更はございません。</p> <p>5番の研修も前回と同様です。</p> <p>新たに追加されたその他事項で、令和6年度の休館日につきましては、前年度は2月の始めに休館いたしましたときに、利用者の方から高校入試の直前ということもあり、ご意見いただきましたので、そちらに関係のない日に設定しております。また毎月最終月曜日は定例の休館日ですが、4月 29 日は祝日のため開館をしまして、翌 30 日を休館日とさせていただこうと考えております。年末年始の 31 日から1月2日は予定どおりです。特別整理期間は2回に分けて、1回目は9月 24 日から9月 29 日まで。2回目は2月 25 日から 28 日の予定と書かれておりますが、こちらは2月の末がイオンの決算月ということもありまして、3月3日から3月7日に変更をしたいと考えております。9月 24 日から 25 日で蔵書点検をしまして、3月3日から3月7日に書架の大幅な変更をしたいと考えております。</p>

次のページ、7番「自主事業」。前回の実施事業から変更があるところだけ説明をさせていただきます。

まず1番の「おはなし会」は、いま、第1、第3の土日に“こぶた”が2歳児まで、それ以上の方が“ひつじ”というように分けて開催をしておりますが、“こぶた”に参加されている方がそのまま“ひつじ”に参加をされることが多くありまして、利用者さんから間の時間がもったいない、という意見もありましたので、来年度から1回で少し長めの「おはなし会」をしたいと考えております。

それから、大きく変わりますのが12番「七夕星空映画会」。こちらは、七夕のときに図書館の中で七夕の願い事を書いてもらって、図書館の中の笹に吊るしていたのですが、イオンが同じイベントを図書館の前の広場でやっております、今年もやるということですので、図書館は屋上を使って「七夕星空映画会」を夕方、開催しようと考えています。天気が悪い場合は3階のコミュニティホールでの開催を考えております。

続きまして15番「初めての工作教室」については、毎月第2月曜日に開催しておりましたが、16番「お子さん向け映画会」とあわせ、偶数月と奇数月に分けてイベントを開催したいと考えております。映画会とかミニシアターをやってくれないかという要望も多かったので、偶数月には、今まで通りの工作教室を開催して、奇数月は、1回8分ぐらいの映画を2、3本上演をして、工作教室の方が要望が多くなれば切り替えを考えております。

16番「高齢者向けの講座」。毎月第2木曜日「図書館カフェ」を開催しておりますが、イオンモール内のジムのATTIVO(アッティボー)さんと相談して、高齢者向けのリハビリトレーニングと「図書館カフェ」を交互に開催をしたいと考えております。

続きまして17番「本の福袋」。秋の読書週間に開催して非常に好評をいただきましたが、図書館としてはお正月休みの期間に多く本を読んでもらいたいということで、年末に福袋を用意して、年末年始にかけて皆さんに借りて帰って読んでもらう、新しい本に触れてもらう、という企画を考えております。

それから18番「つくろ。まなぼ。あそぼ。」ですが、これは先ほども説明をさせていただいた文化的催事を集中的に開催したいと考えておりまして、4月6日に

1周年記念の落語会を開催させていただきますが、毎月第4日曜日に落語会を開催してもらいたいと小圓鏡師匠の方をお願いをさせていただいています。多くの若手研鑽の場にもなりますし、文化的催事として計画しております。

それから20番「赤ちゃんタイムの導入」。毎週月曜日の午前中は「赤ちゃんタイム」という宣伝をしておりますが、利用者の方から子どもの声がうるさいというご意見があります。これは赤ちゃんタイムがまだまだ周知されていないのではないかと思います、図書館の正面の大きな看板に『月曜日の午前中は赤ちゃんタイム』と載せて、子どもたちの声はご容赦ください、と訴えていこうと考えております。

続きまして22番「配送車運行業務」ですが、LiBOON(図書館の車)の活用を生涯学習課と協議をして、LiBOONは軽自動車ですので、さくら号だと入っていけないような細かいところにも活かしていこうという協議をさせていただいております。

25番「バリアフリー映画会」は視聴覚に障害を持つ方にも楽しんでいただけるような映画会を開催したいと考えております。バリアフリー映画は、例えば、字幕がでたり、情景を説明するナレーションが入ったりする映画で、こちらを図書館で上映したいと考えております。また一般の方が見ても楽しめるような映画を選んで、大人のためのイベントが少ない中、落語会と映画会と、大人向けの催し物も少しずつ増やして、図書館の中に呼び込んでいきたいと考えております。

26番「ブックトーク」。これは第3回の協議会でもご提案がありましたけれども、来年度は実施したいと考えております。内容は小学生から高校生と書いてありますが、対象を学生向けにするか、先生向けに実施するかというのは、これから学校教育課の方と相談をさせていただきながら、外部講師を招いて、という形で進めていきたいと考えております。

続きまして『イ. 支援事業』の「1 富津連携事業」。図書館の外に富津ライブラリーという展示用のボードが用意されておりますが、イオンモールからそこを使って何かイベントや展示をしてもらいたいという要請をされております。そこで、市内の小中学校の作品を、県とか市の優秀作品以外にも、クラスごととか学年ごとの作品展示をするのはどうかと考えております。こちらも学校教育課との協議が

	<p>必要だと思いますが、展示されるということが子どもたちのモチベーションにつながればと考えております。</p> <p>「3 各団体相互の連携支援」は、おはなし会のボランティア養成講座(初級・中級)を開催していましたが、このボランティア養成講座に色々なボランティア団体さんが参加していただいていますので交流も図られております。そこで図書館はそういった場を提供させていただき、その中で連携、交流が図れればと考えております。</p> <p>以上が来年度の事業の計画となっております。</p>
川口会長	<p>はい、ありがとうございました。事務局から説明が終わりました。委員の皆さんからご質問等ありましたらお願いします。</p>
富井委員	<p>20 番の「赤ちゃんタイムの導入」についてですが、隣の市では赤ちゃんタイムになると図書館のスタッフが保育士のような格好で、赤ちゃんのおもちゃを持って音を出してながら回ると、可動書架を移動して、敷物をて引いてスペースを作って、というようなことをしていて、一目見てわかりやすくていいなど。文字で図書館の前に掲示してもみんなあんまり見ない、素通りしてしまうので、そういう取り組みも皆にわかりやすいのかなと思いました。以上です。</p>
川口会長	<p>事務局からどうですか。</p>
須藤館長	<p>市ごとにやり方はあると思いますが、まず宣伝することが大切ですので、図書館なりのやり方でスタートさせていただいて、徐々にいろいろなやり方を学びながら、取り組んでいきたいと考えております。</p>
杉田委員	<p>昨日、社会教育委員会議がありまして、そこで委員の方たちにご意見やアイデアをいただきました。その中で障害を持っている方たちや図書館に出向くことができない方たちに対しての図書館サービスについて、図書館からの説明を聞かせていただいたところ、対応することがたくさんありましたので、私から社会</p>

教育委員にお知らせしたいと思います。それから、絵本作家や著作者を招いて、囲む会などを開催しては、という提案もありました。

それから、ブックトークの件は私から提案をさせていただきましたが、そのときには自分がやりたいということでお話したのですが、帰って考えたときに、まず子どもたちや興味のある方向けに、実際にブックトークしていただくと、わくわく感が直接繋がって、さらにそれを聞いた方たちが、大人でしたら自分の活動に繋げようとか、勉強するモチベーションを上げることに繋がっていくと思いますので、講座もして欲しいのですが、経験の豊富な方のブックトークを聞く機会をいただきたいなと思いました。

川口会長

ありがとうございます。他にございますか。

このブックトークというのは、前回、すごく魅力的だと思っていて、またこういう形でということがわかりましたら、この場でまた説明していただければありがたいと思います。

他に何かございますか。

富井委員

すいません、この中にないんですが、図書館の書架の件で。紙芝居がビニールの袋に入っていて、それがくっついてしまって、書架から取り出しにくく入れにくい。私も教育関係で働いていて、よく紙芝居を借りに行くんですが、大人で取り出しにくいし、戻しにくいので、いろいろノウハウをお持ちだと思うので、子どもでも取って入れられるようなものにしてほしいと思うのと、その紙芝居について、一回一回出し入れしなくてもわかるような目録があったらいいなど。その辺を何か、工夫していただければなというお願いです。

杉田委員

富井委員のお話からの質問ですが、大型絵本については、高価なものなので個人には貸し出さないというお話は了解していますが、紙芝居はどういう扱いになるのでしょうか。

須藤館長

紙芝居の扱いは通常の本と同じですが、紙芝居には本にかかっているブック

	<p>コーティングをかけられないので、ジップロックの大きなものに入れてあります。当然、ビニールですのでくっつきあって、取りだしづらくなってしまいます。品川の図書館では、パタパタとめくって探せるV字型の台に置いているのですが、値段を調べたらとても高価です。それから紙芝居が結構な冊数がありますので、図書館の中でのスペースの問題もごさいます。</p>
富井委員	<p>そうなんです。紙芝居は地域の図書室にはあまりないので、図書館に行くのですが、取りづらさと戻しにくさがあります。</p>
須藤館長	<p>目録については、図書館のカウンターでスタッフ言っていただければ、すぐ印刷することができます。そして言っていただければ、スタッフが書架から取ってきます。</p>
川口会長	<p>難しい問題ですけど、そういうこともアピールしていただければ、使いやすくなりそうですね。</p>
杉田委員	<p>実は中学校でおはなし会をする機会がありまして、中学生といとなかなかハードルが高くて、図書館に相談にいつも行くんです。職員の方の対応がとても良くて、一生懸命探していただいて、「全部借ります」という話をした後で、帰ろうとしたところを「これはいかがでしょうか」って追いかけてきてくださって。私は存じ上げなかったので、中身を見ましたら、これは中学生にいいと。図書館の職員の方が毎回、相談にしっかり乗ってくるので皆さんにもおすすめしたいと思います。</p>
須藤館長	<p>中学生向けのおはなし会の本ですが、これは「ボランティア講座【初級編】」の中で参加者の方から中学生向けの本を紹介してくれないかということで質問がありまして、講師の方からメールで20冊ほど本の紹介をいただいておりますので、図書館のカウンターの方に来ていただければ、お渡しすることもできます。</p>

川口会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他に質問ございますか。</p> <p>質疑等ないようですので、本日の議題についてはこれで終了させていただきます。</p> <p>次に議題4、その他ですけれども委員の皆様から何かございますか。</p> <p>無いようであれば事務局から何かございますか。</p>
吉村係長	<p>次回の会議についてお知らせさせていただきます。令和5年度の会議については本会議で終了ということで、令和6年度の第1回目の会議は6月頃を予定しております。</p> <p>詳細が決まりましたら、またメールでお知らせさせていただきたいと思いますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。以上です。</p>
川口会長	<p>それでは以上をもちまして、全ての議事を終了といたします。円滑な議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>進行を事務局にお返しします</p>
樋口課長	<p>川口会長、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様におかれましては、長時間にわたりましてご審議いただきありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして令和5年度第4回富津市図書館協議会を閉会といたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>